

日経アジア賞

NIKKEI ASIA PRIZES

第23回「日経アジア賞」

受賞候補者 推薦のお願い

謹啓 貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、日本経済新聞社の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社は第23回「日経アジア賞」の受賞候補者の募集を開始いたしました。

今年も幅広い観点で、アジアの現在・今後をリードする候補者を発掘できればと考えております。ご推薦のほどお願い申し上げます。

受賞者は2018年春に決定し、5月に東京で行う表彰式にご招待します。受賞者の概要は「日本経済新聞」や「Nikkei Asian Review」などで世界中に広く発信します。また賞状と副賞賞金300万円をお贈りします。

2017年など過去の受賞者等につきましては「日経アジア賞」ウェブサイトをご参照ください。
<http://www.nikkei-events.jp/asiaprizes/>

お忙しいところ誠に恐縮ですが、同封の資料をご一読の上、10月31日（火）までに郵送、ファクス、Eメール、あるいはウェブ経由でご推薦をお寄せいただければ幸いです。なお、推薦者のお名前は公表しません。

「日経アジア賞」はアジアの発展にささやかながら貢献していると自負しております。ぜひともご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

日本経済新聞社

お問い合わせ

日本経済新聞社 グローバル事業局

「日経アジア賞」事務局

tel 03-6256-7178 asia2@nex.nikkei.co.jp

日経アジア賞

NIKKEI ASIA PRIZES

受賞候補者推薦のガイドライン

▼目的

「日経アジア賞」は、日本経済新聞社が1996年、「日本経済新聞」の創刊120周年を記念して創設しました。アジアの発展と生活水準の向上に貢献した人々や団体に光をあてることを目的にしています。

▼対象部門

以下の3部門ごとに毎年1名または1団体に贈ります。

- ・経済部門 Economic and Business Innovation
- ・科学技術部門 Science and Technology
- ・文化・社会部門 Culture and Community

▼アジアの範囲

受賞資格があるのは日本を除く以下のアジア地域の個人・団体です。原則としてアジア地域に住み、アジアで業績をあげている方が対象です。日本人および日本の団体は受賞対象からはずしています。

- ・東アジア（朝鮮半島、中国など）
- ・東南アジア（インドシナ、ASEAN加盟国など）
- ・南西アジア（インド亜大陸の国々）
- ・太平洋地域の独立国（豪州、ニュージーランドは除きます）

注：一年のうち半分以上アジア地域に住んでいる人が対象です。日本に居住している人も含みます。

▼賞金

受賞者には、それぞれ賞状と、副賞として300万円の賞金を贈ります。また、受賞者（団体・組織の場合はその代表者）を東京で開く表彰式に招待します。

▼推薦者

ネットなどを通じ幅広く募集しているほか、内外の識者、アジアについての専門家に依頼しています。推薦者の氏名は公表しません。自薦は認めていません。

▼審査

アジアに詳しい日本の各分野の専門家で構成する審査委員会が審査しています。

▼発表

受賞者は毎年4～5月に「日本経済新聞」、日経のインターネット・サイト「日本経済新聞電子版」、英字媒体の「Nikkei Asian Review」などで発表します。

▼表彰式

表彰式は毎年5月に東京で開きます。

▼各部門の選考対象

いずれの分野の賞も、①受賞者のアジアの発展と繁栄への貢献度②世界的に見た活動の獨創性、獨自性③話題性を総合評価して選びます。

【経済部門】

経済、産業分野でアジアの発展と安定に功績のあった個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① 革新的な経営手法などにより国や地域の発展、産業育成に貢献した企業家
- ② 経済改革や経済の地域連携・協力の促進などを通じて、経済の発展や安定に貢献した政策担当者
- ③ 経済格差の是正や社会的なニーズの充足などに貢献した人——など

【科学技術部門】

科学技術研究や技術開発・改良などで社会的なインパクトのある成果をあげた個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① バイオやゲノム、IT、医療など科学技術研究で成果をあげ、社会に貢献した研究者
- ② 環境分野での革新的な技術開発や、環境保全への地道な取り組みで成果をあげた人

【文化・社会部門】

文化の発展への貢献を通じ、社会に影響を与えている個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① 音楽、美術、文学などの分野で顕著な活躍をし、社会的に注目される人
- ② 今日的な視点から、歴史遺産や伝統文化などを掘り起こし、文化の再評価に貢献している人
- ③ 創造的な文化活動を側面支援し、社会への浸透に貢献している個人や団体

※例には直接当てはまらなくても賞の趣旨にふさわしい候補者は歓迎します。

<選考に当たっての留意点>

- 1、 原則として過去10年以内に成し遂げた業績、成果を対象とします。
- 2、 現役として活躍している方が対象です。進行中の研究等も対象となりますが、業績・成果の評価がある程度定まっている方をお願いします。
- 3、 すでに著名な方だけでなく、地道な活動を通じて人々の共感を呼ぶような実績をあげている方の発掘を歓迎します
- 4、 ノーベル賞や京都賞などの受賞者は避けてください。

第23回「日経アジア賞」

受賞候補者 推薦用紙

Nikkei Asia Prizes - Nomination Form

*以下の各欄にご記入のうえ、2017年10月31日(火)までにお送りください。

インターネットでも受賞候補者の推薦を受け付けています。
推薦の書式は(<http://www.nikkei-events.jp/asiaprizes/guideline/index.html>)にあります。
必要事項をご記入のうえ送信してください。
また、過去の「日経アジア賞」につきましては、
<http://www.nikkei-events.jp/asiaprizes/index.html> をご参照ください。

【受賞候補者について】

・どの部門の候補者をご推薦になりますか。(該当する部門をチェックして下さい)

- 経済部門 Economic and Business Innovation
- 科学技術部門 Science and Technology
- 文化・社会部門 Culture and Community

・受賞候補者は個人ですか、団体ですか。(該当する項目をチェックして下さい)

- 個人 Individual
- 団体・組織 Group/Organization

◇ 受賞候補者(団体)名(ローマ字と日本語の両方をお願いします)

Mr. Ms. Prof. Dr. (該当する項目をチェックしてください)

ローマ字: _____

日本語(読みまたは漢字表記): _____

◇ 受賞候補者の職業または所属組織・役職(個人推薦の場合のみ)

ローマ字: _____

日本語(読みまたは漢字表記): _____

◇ 受賞候補者の国籍: _____

- ◇ 受賞候補者を推薦した理由を、アジアの成長と繁栄への貢献度、世界的に見た活動の独創性、独自性、そして話題性にふれながら、500～1000 字程度でお書き下さい。

- ◇ 受賞候補者の略歴、生年月日、受賞歴などをお書きください。「団体・組織」を推薦する場合は組織の概要、主な活動、略史などをお書き下さい(1500字以内でお願いします)。

- ◇ 受賞候補者についての記事、履歴書の原本、論文、論文リストなどがあれば、E-mail (asia2@nex.nikkei.co.jp)もしくは郵便でお送り下さい。また、受賞候補者についての情報が得られるウェブサイトがあればアドレス(URL)を以下にお書きください。

【ご推薦者について】(海外にご在住の方は、お名前以外の欄はローマ字でお願いします)

お名前: Mr. Ms. Prof. Dr. (該当する欄をチェックしてください)

(日本語) _____

(ローマ字) _____

所属組織:
(ご職業) _____

お役職: _____

ご連絡先住所: _____

Tel.: _____

Fax.: _____

E-mail: _____

第23回日経アジア賞 受賞候補者推薦お申し込みの締切は2017年10月31日(火)です。
お忙しいところ、ご協力をいただき、誠に有り難うございました。

◇推薦用紙、資料などの送付先、お問い合わせ先:

郵送先: 〒100-8066

東京都千代田区大手町1-3-7

日本経済新聞社グローバル事業局内

「日経アジア賞」事務局

E-mail: asia2@nex.nikkei.co.jp

TEL:03-6256-7178 FAX:03-6256-7854

Nikkei Asia Prizes Secretariat
c/o Nikkei Inc.

1-3-7, Otemachi, Chiyoda-ku

Tokyo 100-8066

JAPAN